

●基本情報

事業名(取組名)		小学校田んぼ事業		評価番号	3-2-7-1
担当課		学校教育課	係	学務係	<input checked="" type="checkbox"/> 予算なし
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計
	基本施策	【2】特色ある学校教育の推進			款
	施策	【7】学校・家庭・地域の連携・協力の推進			項
	主な取組	①学校と地域の連携による学校支援体制の充実			目
			事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称			
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 28 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 (直 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乘せ) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業概要	<p>各小学校に1箇所ずつ田んぼを借り、児童に田植えから収穫、試食までの農業体験の機会を提供し、児童自らが田植えから収穫までの農業体験をすることで、食の大切さや町の自然を体感し、感受性豊かな心を育成する。また、地域の田・畑を利用した実習授業を通して、農業への理解を深め、生命を大切に作る心や助け合いの心を育成する。</p>				

●実施 ~DO~

事業業績	<p>基盤整備実施のため、整備終了まで中止となる。 ※R2~4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>				
支出	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳				
	事業費 計				
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳	国支出金			
		県支出金			
		受益者負担金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
	事業費 計				

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 地域の方々と学校が連携し、教育課程に位置付けて実施している事業であることから、貢献できていると考える。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 教育課程に位置付けて学校が実施する事業であるため、町が主体となり事業を行うことが妥当であると考え。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 小学校の教育課程に組み込むと、天候等に影響を受ける事業であり、実習ができない場合もあることから、⑤の類似事業との統廃合により事業内容を見直す余地があると考え。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない 小学校の教育課程に組み込むと、天候等に影響で実習ができない場合の工夫や準備が必要となる事業であるため、可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input type="radio"/> 類似事業はない 農業政策課においても「親子稲刈り体験」を実施しており、また、生涯学習課では「子ども体験事業の推進」を掲げていることから、事業の統廃合や連携の可能性はある。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 農家への田畑賃借料等は農地賃借料情報に基づき算出した必要最低限の経費であるため、削減の余地はないと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 教育課程に組み入れ、学校と地域の連携によって実施する体験学習であり、児童生徒の個人の所有物としていないため、受益者負担を求める事業ではない。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大） <input checked="" type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 小学校の教育課程に組み入れて実施している事業であるが、天候等に影響を受ける事業であり、実習ができない場合もあること、また、農業政策課においても「親子稲刈り体験」を実施しており、生涯学習課では「子ども体験事業の推進」を掲げていることから、将来的には見直しが必要と考えている。 しかしながら、実際の水田での田植え・稲刈り体験は児童にとって希少な学習経験となり、各学校の実施計画に基づき実施しているため、当面は、新学習指導要領の食育の推進に位置付け、食育推進活動に必要な学習として、継続していくが、令和5年度から基盤整備が始まり、田んぼが使用できないため、整備が完了するまでは事業は中止とする。

令和6年度事務事業評価シート (評価対象年度 令和5年度)

●基本情報

事業名(取組名)	コミュニティ・スクールサポート事業			評価番号	3-2-7-1	
担当課	指導課	係	庶務係	□ 予算なし		
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【2】特色ある学校教育の推進			款	【0109】教育費
	施策	【7】学校・家庭・地域の連携・協力の推進			項	【010901】教育総務費
	主な取組	①学校と地域の連携による学校支援体制の充実			目	【01090104】教育研究指導費
			事業	コミュニティ・スクールサポート事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	○ なし ● あり	名称	利根町立学校における学校運営協議会に関する規則 利根町コミュニティ・スクール指導員設置に関する規則		
新規・継続	● 新規 ○ 継続	事業開始年度	令和 5 年度	□ 事業開始年度不明	
事業期間	○ 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度) ● 単年度繰り返し ○ 単年度のみ				
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業概要	利根町立学校の運営及び支援に関して協議をするために学校運営協議会を設置し、学校と地域住民等が協働して子どもの学びを支え、子どもの主体性や学力を育む学校づくりを行う。 コミュニティ・スクール指導員を配置し、地域人材や関係団体との連絡調整、広報活動を行う。また、学校運営への参加を求める交渉を行う。				

●実施 ~DO~

事業業績	コミュニティ・スクール指導員1名を配置し、コミュニティ・スクールに関する広報活動を行った。また、令和6年度より学校運営協議会を設置するため、規則の制定及び公募等による委員の選定を行った。				
支出	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳	1 報酬	円	円	1,526,742 円
		7 報償費	円	円	50,400 円
		8 旅費	円	円	44,352 円
			円	円	円
		その他	円	円	円
	事業費 計	0 円	0 円	1,621,494 円	
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳	国支出金	円	円	円
		県支出金	円	円	円
		受益者負担金	円	円	円
		地方債	円	円	円
		その他	円	円	円
	一般財源	円	円	1,621,494 円	
事業費 計	0 円	0 円	1,621,494 円		

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献しているか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 地域社会に開かれた学校づくりを行うものであり、貢献している。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当か。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 町内小中学校を併せた協議会に関する事業であるため、町が事業主体として事業を行うことが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができるか。	理由	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 学校運営協議会は令和6年度から開始となるため、今後の活動により成果の向上が見込める。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 廃止・休止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できるか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 類似事業はないため、統廃合・連携の可能性はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できるか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある コスト削減の余地はない。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正か。	理由	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続（ <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 令和6年度より利根町立学校運営協議会が設置されるため、事業拡大となる見込みである。協議会委員である地域住民や学校により今後の事業内容を検討していく。

●基本情報

事業名(取組名)	子ども110番の家事業・防犯ボランティア事業		評価番号	3-2-7-2
担当課	学校教育課	係	学務係	<input checked="" type="checkbox"/> 予算なし
基本計画	基本方針	【3】誰もが夢を持ち輝き続けるまちづくり		会計
	基本施策	【2】特色ある学校教育の推進		款
	施策	【7】学校・家庭・地域の連携・協力の推進		項
	主な取組	②子どもを地域全体で育む環境の整備		目
		事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称	
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	年度 <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始年度不明
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり(事業終了年度: 令和 年度) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し <input type="radio"/> 単年度のみ		
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直 <input type="checkbox"/> 委託(<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input checked="" type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他()		
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他()		
事業概要	<p>警察や小中学校, PTA等と連携し, 通学路に面した一般家庭や商店等を緊急避難場所として, 地域の方のご自宅, 商店などに「子ども110番の家」の看板を設置し, 地域全体で児童の安全を守る。また, 登下校防犯ボランティアによる見守りのほか, 防災無線により地域の方々に見守りを呼びかけ, 防犯意識の高揚を図る。</p>		

●実施 ~DO~

事業業績	<p>地域ぐるみで子どもたちを育てる体制づくりの一環として, 「子ども110番の家」の看板の設置や登下校防犯ボランティア, 防災無線による下校時の見守りの呼びかけなど, 地域ぐるみで子供達を守る体制づくり, 地域住民の防犯意識の高揚が図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども110番の家」看板設置数 238件(前年度238件) ・地域見守りボランティア数 70人(前年度63人) 				
支出	主な歳出の節	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳				
	事業費 計				
財源	主な歳入の科目	令和3年度(実績)	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	
	内訳	国支出金			
		県支出金			
		受益者負担金			
		地方債			
		その他			
		一般財源			
	事業費 計				

●評価 ～CHECK～

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 地域の方々にご協力をいただき、地域ぐるみで児童の安全を確保していることから、貢献できていると考える。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 町単独で通学路における児童の安全を確保することは難しく、町が主体となり地域や関係機関と連携し、子供たちの見守り体制を構築しているため、妥当であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 見直す余地がある 理由 児童数の減少や地域の高齢化により「子ども110番の家」は減少傾向になっていくと思われるが、児童の安全のため、見守りは重要であることから見直す余地はないと考える。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 理由 今後も地域や関係機関と連携して、登下校時の児童の安全を確保する必要があるため、廃止の可能性はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない 理由 類似事業はない。
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 理由 「子ども110番の家」の看板は、数年に1回まとめて購入しており、また、地域のボランティアの協力により通常の事業費計上がないため、削減の余地はないと考える。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない 理由 予算執行はない。

●改善 ～ACTION～

今後の方向性	継続（ <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大） <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止（終了） <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 今後も警察や小中学校、PTA等と連携し、通学路に面した一般家庭や商店等を緊急避難場所として、地域の方の自宅、商店などに「子ども110番の家」の看板を設置し、地域全体で児童の安全を守っていく。地域の方々に見守りの呼びかけをお願いしている防災無線については、令和2年度より各小学校児童にアナウンスをお願いしており、今後も子どもたち自ら地域の方々に見守り放送を実施していく。